

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

加盟店とともに地域社会に貢献し、生活に欠かすことのできない存在となることを目指す

② 中長期の経営戦略

1. CVS事業の基盤強化

店舗基盤・ブランド・顧客基盤の強化。AI活用による省力化、無人決済店舗導入、QSC向上、ファミマルやファミペイ強化

2. 新規ビジネス拡大

広告・メディア、金融、デジタルコマース事業の収益化加速。店舗メディア化、ファミペイ翌月払い・ローン拡大、店舗網活用

3. 環境・社会への対応

ファミマecoビジョン2050達成に向け、温室効果ガス削減、プラスチック対策、食品ロス削減を推進

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不透明性

- ・食糧・エネルギー価格高騰、円安、インフレによる消費マインド低下
- ・業界・業態の垣根を越えた競争環境の出現
- ・少子高齢化・人口減少に伴う働き手不足・人件費高騰

② 消費者ニーズの多様化対応

- ・生活様式と消費行動の変容に対応した商品・サービス創造
- ・SDGs等への関心の高まりへの対応

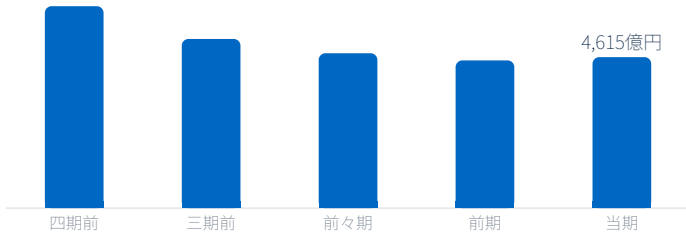
③ コスト構造改革推進

- ・デジタル最適活用による業務改革
- ・店舗の省力化・省人化の検証・開発

面接で使えるポイント

- ・2022年度から2024年度を『再成長を実現する3年間』として、コスト構造改革とデジタル活用を強く推進
- ・ファミペイ翌月払い・ローン等の金融サービスや、ファミマフードドライブなど独自のSDGs取組みを展開
- ・AI活用や飲料自動陳列ロボット導入により店舗省力化を検証し、無人決済店舗などの新フォーマットで出店可能地域を拡大

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに

当社（株式会社ファミリーマート）、子会社14社

主力事業・セグメント

- ・小売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高4,615億円の事業規模

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
4,615億円営業利益率
－（未開示）財務健康度
31点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 54.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

